

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	中枢神経疾患における神経成長関連タンパク質の関与についての研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2000年1月以降、中枢神経疾患（脳腫瘍、てんかん、脳挫傷など）で手術摘出もしくは病理解剖により脳組織が摘出され、脳研究所に保存されている患者さんが対象です。	
③概要	
近年神経細胞が突起を伸ばし回路を作る時に発現する神経成長関連タンパク質 (Growth associated protein-43 (GAP-43)) が、脳腫瘍においても発現して治療抵抗性の因子であると報告されました。我々は、長年の研究によってこの GAP-43 のタンパク質の活性化を意味するリン酸化部位とそのリン酸化の制御酵素を見つけました。本研究は、GAP-43 に関するリン酸化の知見から、中枢神経疾患の細胞突起形成に注目した治療法開発を目指します。	
④申請番号	2015-2661
⑤研究の目的・意義	我々が長年 GAP-43 のリン酸化の知見を蓄積してきました神経細胞、脳腫瘍細胞に共通した GAP-43 による細胞突起形成メカニズムに注目した病態解明と治療法開発を目指します。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2026 年 11 月 30 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	脳研究所に保存されている中枢神経組織を生化学的、免疫組織学的に解析します。その上で電子カルテに保存されている病歴及び画像を利用します。研究の成果は学会や専門誌などの発表にデータが使用される場合がありますが、使用するデータは個人が特定されないように匿名化し、個人が特定できるような情報は公表されません。
⑧利用または提供する情報の項目	摘出組織、摘出組織の患者さんの臨床情報（年齢、性別、臨床症状、画像、ホルモンを含む血液検査、摘出術または薬物治療投与の有無など治療法、治癒率、再発期間）を利用します。
⑨利用する者の範囲	新潟大学 脳研究所 脳神経外科学分野
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所 脳神経外科学分野 教授 大石 誠 新潟大学脳研究所 脳腫瘍病態学分野 助教 岡田 正康
⑪お問い合わせ先	所属：新潟大学脳研究所 脳神経外科学(脳腫瘍病態学)分野 氏名：岡田 正康 Tel：025-227-0653 E-mail： shindainougeka@bri.niigata-u.ac.jp